



# 有限会社ヤマウ水産 SDGs宣言

当社は、事業活動を通じて「持続可能な開発目標(SDGs)」の達成に貢献し、地域課題の解決および、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

2021年4月9日

有限会社ヤマウ水産  
代表取締役 濱田 浩臣



## 重点項目(ターゲット2030)

### 持続可能な養殖業

将来にわたっておいしい魚をご提供できるよう、水産資源の持続的な利用、環境に配慮した養殖業に取り組みます。かけがえのない水産資源を守ってまいります。

#### 【主な取り組み】

水産エコラベル(AEL)取得、省エネ設備導入(ソーラー発電給餌機等)、飼料残渣の削減、船の稼働時間抑制



### 安心・安全なお魚

食の安全を第一とし、皆さまの健康を守るための取り組みを進めます。また、お客さまの声を真摯に受け止め、品質の向上に努めてまいります。

#### 【主な取り組み】

医薬品残留基準の遵守、お客さまの声を反映する体制、飼料等の適切な管理



### 社員全員が活躍できる職場づくり

若者から年長者まで社員全員が生き生きと活躍でき、また、安心して働ける職場づくりに取り組みます。ずっと働きたいと思える魅力的な職場を目指します。

#### 【主な取り組み】

多様な人材の採用、社員の要望の把握・反映、社員の意向や適正に応じた配置、残業時間の削減、機械化による社員の負担軽減



### 養殖業の振興と活気ある地域づくり

高齢者の生きがい就労を生み出すとともに、養殖業の将来を担っていく次代の人材を育成します。愛媛の基幹産業の一つである養殖業の振興から、活気ある地域づくりを目指します。

#### 【主な取り組み】

業界未経験者や高齢者の積極雇用、資格取得支援、漁協等の地域のステークホルダーとの連携、地域産飼料の活用



## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



### 「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」とは

- ・ 貧困、気候変動、人種・性差別、働き方などのさまざまな問題が顕在化する中、持続可能な社会をつくるために国連が定めた国際目標です。2030年までに解決すべき優先課題として、17の目標と169のターゲットが示されています。
- ・ 目標を達成するために、国連や政府だけでなく、企業やNPO、個人等が幅広く担い手として活躍するよう期待されています。
- ・ 企業がSDGsに取り組むことで、「気候変動をはじめ経営環境が変化していく中でも持続可能な組織である」と示すことにつながります。